



「第2回広島県地域職業能力開発促進協議会」を開催しました



広島修道大学岡田行正教授の進行により活発な議論が展開されました（令和5年3月7日開催）

協議会について

広島労働局と広島県の共催で「第2回広島県地域職業能力開発促進協議会」を開催しました。この協議会は改正職業能力開発促進法に基づき開催されるもので、地域の実情や人材ニーズに沿った職業訓練を実施する等、関係機関と情報を共有し相互の連携を図りながら地域の産業に必要な人材の育成を目指していくものです。

令和5年度広島県地域職業訓練実施計画

事務局より令和4年度公的職業訓練実施状況の説明を行い、その後「令和5年度広島県地域職業訓練実施計画案」について提案があり、構成員に了承されました。令和5年度は新たな取組としてデジタル人材の育成・確保に資する訓練コースとして、IT分野の長期高度人材育成コースを設定、また、大幅にデジタル系訓練コースの定員を増やしています。

ワーキンググループによる訓練効果の検証

今協議会では、適切かつ効果的な職業訓練を実施するため、ワーキンググループによる効果検証を行う訓練コースを選定することとしており、広島県においても人材育成が喫緊の課題とされるIT分野と、少子・高齢社会の進展等により今後一層の需要が見込まれ、慢性的な人材不足である介護・医療・福祉分野の2つの分野を選定することで了承されました。

職業能力の開発及び促進の向上に係る取組

職業能力の開発及び促進の向上の取組について、中国経済産業局から中国地域の半導体関連産業の振興に向けた人材育成・確保について報告がありました。また、広島県からリスクリング推進企業応援プロジェクトについて、広島労働局から従業員の人材育成、スキルアップに活用できる人材開発支援助成金（人への投資促進コース）について説明がありました。

※ 地域職業能力開発促進協議会の詳細は広島労働局HPに掲載しております。